

一般質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開く定例会議で、市政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

今定例会では、19人の議員が一般質問を行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要で、質問者本人が執筆しております。

なお、一般質問の様子は、議会ホームページからご覧いただくことができます。



平成29年9月27日撮影（全員協議会室）



とだがききたい

議員 災害発生に備え、平時からの対策が大事である。避難訓練について伺う。

①過去の災害ではペット同行避難が課題となり、ペットと安心して避難生活を送れる対策が必要である。ペットと一緒に避難するためのポイントとなる「避難所受付、ペットスペース・トイレスペース」の設置、避難所でのルール、飼い主の事前の準備などをメニューに入れた、ペット同行避難訓練を実施してはどうか②災害時に役立つ「バッククッキング」を、学校の防災教育授業と、市の各種防災訓

災害対策

「ペット同行避難訓練」の実施を

「避難所訓練を実施する中で検討」

手塚 静枝 議員

練に導入してはどうか。

危機管理監 ①災害時でも生活を維持するための事前対策を啓発することが重要である。ペット同行避難は、避難所を運営する上での課題であることから、今後、避難所の訓練を実施していく中で検討していく②災害時の食料を提供する手段の一つとして、今後、防災訓練などを通じて周知していく。

教育部長 ②災害時における工夫について学べる。校長会に情報提供する。

あいサポート運動を



議員 災害発生に備え、平時からの対策が大事である。避難訓練について伺う。

あいサポート運動を



①ペット同行避難訓練... 受付の様子とペットスペースの設置（京都市保健福祉局医療衛生推進室医務衛生課ホームページより）

議員 障がいのある方を優しく支え、地域全体で「障がいを知り、共に生きる」取り組みを行う「あいサポート運動」を、本市でも取り組んでほしいか。

福祉部長 本格的な導入については幾つか課題があることから、今後、研究していく。

次期市長選挙

神保市長の出馬意思は

「今限りで市長の職を退任」

伊東 秀浩 議員

議員 神保市政が誕生してからの20年間、情報公開制度の構築、合併への不参加、健全財政の維持など、スピード感をもって諸課題の解決に取り組み、全国対象のあらゆる調査のランキングでも高い評価を得られる都市として成長しており、市長に対する市民の期待は大きい。次期市長選挙への出馬意思は。

で、発展する戸田市を陰ながら見守っていく決断をし、今限りで市長の職を退任し、次期市長選挙には立候補しないことを表明する。私のまちづくりに対する思いを継承し、今のスピードを減速させないでけん引できる方に市長の職を引き継いでもらいたい。



▲5期20年間、戸田市政を担った神保国男市長

市長 平成28年度までの達成状況は、達成が29事業38%、一部達成が40事業53%、取組中が7事業9%。当初の計画通り推移。事業内容は、待機児童解消の緊急対策、学童保育室受入年齢の拡大、市民要望に応えた施設整備の促進など、広範な課題解決に対応。全ての事業が着手済みで、年度末までに達成見込み。

市長 市長の今期の公約は8分野76事業だが、達成状況と実績、達成見込みは。

一般質問

4月開始のコミュニティ・スクールとは何か

「地域で子供たちを育む新しい制度」

林 冬彦 議員

議員 CSについて、どう市民に知らせ、意見を募っていくのか。

教育部長 ネットや広報紙でお伝えするほか、町会、民生委員、児童委員、学校応援コーディネーターの会議等で説明していく。市民の方も、それらを通じて情報収集や意見交換を行ってほしい。

危機管理監 災害対策本部等を設置し、市内の状況把握や国・県からの情報の集約を行い、被害状況や生活情報等の必要な情報を、防災行政無線のように市域全体に対し一斉に広報を行うものや、市外にいる方に対して情報提供のできるホームページやSNS等の活用、さらに避難所では掲示板等で提供していく。

議員 戸田市の全小中学校が来年度4月から導入するコミュニティ・スクール（以下、CS）と略とは何か。

教育部長 地域で子供たちを育む新しい制度。教育を取り巻く環境が大きく変化する中、子供たちに「生きる力」を身に付けさせるため、地域住民や保護者が一定の権限と責任を持って学校運営に参画する仕組み。戸田市は他市に先駆けて市内全小中学校にCSを導入する。



▲戸田第一小学校全景

大規模災害発生後 市の対応は

議員 市はどうか対応し情報発信するのか。